

2022年2月2日

各位

首都圏新都市鉄道株式会社

当社社員の新型コロナウイルス感染について

つくばエクスプレス (TX) を運営する首都圏新都市鉄道株式会社 (代表取締役社長 柚木 浩一、本社:東京都千代田区) では、2022年1月31日 (月)、当社社員の新型コロナウイルス感染の疑似症患者が確認されましたので、ご報告申し上げます。お客様ならびに関係者の皆様にはご心配おかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。

本件の詳細につきまして、下記のとおりです。

記

1. 感染した社員

乗務管理所 男性 30歳代

※乗務中は乗務員室内でマスクを常時着用し、手洗い・うがいの励行、アルコールによる手指消毒等を行っておりました。

概況

1月28日 (金) 勤務 (宿泊)

1月29日 (土) 明番 同居家族が「陽性」と判明。当該社員は濃厚接触者と判定。

1月31日 (月) 休務 当該社員に発熱の症状あり。医師の診断により、「疑似症患者」と確定。

なお、当該社員の最終勤務日は1月29日 (土) で、以降勤務はしていません。

また、2月2日 (水) 現在、当該社員は自宅で療養中です。

2. 対応状況

(1) 感染した社員が勤務する職場の消毒作業は実施済みです。

(2) 感染した社員が勤務する職場においては、検温を徹底し、経過観察を実施しています。

今後、発熱等の症状が見られた際は、保健所の指示に従い対応を行います。

(3) 保健所から濃厚接触のご指摘を現時点では受けておりません。

3. 今後の対応

本件による列車運行への支障はございません。

これまで、マスクの着用や手洗い・うがい、手指のアルコール消毒等の社員の感染予防対策を実施してまいりましたが、今回の事象を受けて、引き続き徹底を図ってまいります。

当社では、今後も関係官庁や保健所と連携して、感染症予防対策の強化と徹底に努めてまいります。

以上